

令和3年度自己評価シート(中間評価)

校番	107	学校名	西条特別支援学校	校長氏名	吉迫 基全	全日制	本校
----	-----	-----	----------	------	-------	-----	----

1 短期(本年度)経営目標

【短期(本年度)経営目標】 ①進路に関する情報を蓄積, 整理し, 卒業後の生活がイメージできるように児童生徒, 保護者に発信する。	
【本年度行動計画】 ①児童生徒が進路に関する情報を得やすいよう進路コーナーを整理する。研修会や「進路だより」を通じて保護者に進路に関する情報を発信する。	評価 B
【短期(本年度)経営目標】 ②本校の多様な教育課程についての理解を深める。	
【本年度行動計画】 ②教育研究部と連携して教科会を開く。 ②教科会では, 教育課程, 教科書, 年間指導計画について検討する。	評価 B
【短期(本年度)経営目標】 ③「知りたい」「伝えたい」「やってみたい」という児童生徒の思いを引き出す授業づくりを推進する。	
【本年度行動計画】 ③全教職員が, 個に応じた ICT 機器・支援機器を活用した研究授業を実施する。	評価 B
【短期(本年度)経営目標】 ④安全に配慮した児童生徒の学習の場づくりに努める。	
【本年度行動計画】 ④年3回, 安全点検を行う際, 安全チェックシートを活用し教室内及び校内全体を整理する。 ④危機管理マニュアルについて周知し, 全体で確認, 医療的ケア研修会, 緊急対応マニュアル研修会, 火災避難訓練を行い, 緊急対応に備えると共に危機管理マニュアルを見直していく。 ④災害避難時の備蓄品等について自宅生保護者に周知する。	評価 B
【短期(本年度)経営目標】 ⑤児童生徒の実態に応じた挨拶の指導を充実させる。	
【本年度行動計画】 ⑤児童会生徒会を中心として, 全校で挨拶を推進する取組を考え実行する。 ⑤保護者・外部学校関係者へアンケートを取り, 児童生徒の指導に活用する。	評価 B
【短期(本年度)経営目標】 ⑥地域と積極的に交流・協働を図ることで地域からの信頼を高める。	
【本年度行動計画】 ⑥「こころのいずみ作品展」「児童生徒作品展」などを通して, 児童生徒が校外で成果発信・交流できる場を積極的に設ける。	評価 B
【短期(本年度)経営目標】 ⑦地域を巻き込んだ協働学習を推進する。	
【本年度行動計画】 ⑦地域のパートナーを作り, プロジェクトの中で意見交換できる場を設定する。 ⑦協働学習が児童生徒の主体的な学びとなるよう, 生徒指導部, 教育研究部, 教務部, PTA 等と連携する。	評価 B

【短期（本年度）経営目標】 ⑧職員一人一人が「働き方改革」の目的を意識し、目標を立て行動する。	
【本年度行動計画】 ⑧目的意識の共有、目標達成しやすい環境設定に取り組む。（プロジェクトチーム） ⑧職員一人一人が個々の目標を立て、達成に向け、行動する。（全教職員）	評価
	B

【短期（本年度）経営目標】 ⑨会議・研修等の日程調整を「働き方改革」の視点を持って行う。	
【本年度行動計画】 ⑨計画的に会議・研修等の日程調整を行う。	評価
	B

2 中間評価のまとめ

評価結果の分析	<p>①進路コーナーをスロープ下から図書室に移動し、児童生徒が自由に進路情報を得られるようにした。また、これまで年4回発行だった「進路だより」を毎月発行し、卒業後の生活をイメージできるような情報を発信した。しかし、いずれの取組みも、その成果や課題を検証できていないのが現状である。</p> <p>②教育課程に関するクイズを実施したことで、教育課程への理解が十分ではないことが分かった。本校の多様な教育課程への理解を深めるために、教科会では各学部で教育課程表について改めて説明し、再確認するとともに、現在の教育課程の課題を明確にし、次年度の教育課程の編成を検討している。また、全体計画の作成時期の見直しを行った。</p> <p>③実施率は75%（9月14日時点：42/57名）で、ICT機器活用や単元を意識した授業改善に取り組んでいる。</p> <p>④各種訓練を計画、実施していく中で実際の場面を想定することで不都合が生じており、マニュアルの見直しが必要である。</p> <p>⑤各学部の児童会・生徒会活動において、挨拶を推進する取組みを行い始めたところである。今後は、学校全体で挨拶を推進する取組を充実させていく。</p> <p>⑥感染症拡大防止対策のため、美術・工芸展をWeb開催として実施した。また、児童生徒の作品を隣接する「おりづる」プールギャラリーに展示し、地域の方に表現活動の成果発信を行った。しかし、同じく感染症対策のため、展示会場を最大限に利用することが難しく（展示期間・来場者の制限等）、課題となった。</p> <p>⑦SDGs未来都市東広島推進パートナーに登録した。生徒指導部等と連携しながら、プロジェクトチームを中心に現在行っている活動をSDGsの視点で捉え直し、発信していくことに向けて、取組み始めた。</p> <p>⑧職員一人一人が働き方改革に向けての目標を立てている。プロジェクト会議として、教材教具や各種書式の整理と職員間での共有をするために、西条特別支援学校文書箱の活用の準備を進めている。職員一人一人の目標達成に向けてのさらなる環境設定が課題である。</p> <p>⑨長期休暇中の会議・研修等の日程を、職員が休暇を取りやすいよう、工夫して設定した。また、業務等の関係で会議が通常通り行えない場合は、管理職と連携し、変更して対応した。</p>
今後の改善方針	<p>①保護者には「進路指導ガイドブックや進路だよりは、卒業後の進路に役立つ情報を発信しているか」という項目で、学校評価アンケートを行い、取組の成果を検証する。また、教職員にもアンケートを行い、進路指導部の取組（進路コーナー・進路だより・研修等）について、それぞれ成果や課題を明らかにし、肯定的な評価の割合60%という目標達成につなげていく。</p> <p>②再度、教育課程に関するクイズを実施し、教育課程の理解の定着を図る。また、次年度の教育課程の理解を深めた上で年間指導計画の作成を行っていく。</p> <p>③授業改善やカリキュラムマネジメントにつながったかをアンケート調査で評価し、次年度の方策を検討する。</p> <p>④訓練を計画、実施していく中で、不都合な部分をアンケート等で把握し、その都度計画段階や実施後等に修正し、マニュアルを改善していく。</p> <p>⑤各学部の児童会・生徒会活動で挨拶への取組について情報発信を行い、挨拶に関わる活動をすることで学校全体の取組につなげる。</p> <p>⑥本校ホームページを活用する等、児童生徒が成果発信できる場を増やしていく。</p> <p>⑦SDGsの取組を発信していくことで、地域協働を進める。また、具体的な地域との協働学習を検討し、実施に向けて取組みを進める。</p> <p>⑧文書箱の活用等、職員一人一人の「働き方改革」の目標達成に向けた環境設定の実効性の検証及び実効性を高めるための方策をプロジェクト会議において検討する。</p> <p>⑨引き続き各分掌・管理職と連携しながら「働き方改革」の視点をもって会議・研修等の日程調整していく。</p>
学校関係者評価結果を踏まえた今後の改善方針	<p>○目標達成に向け中間評価の分析及び、今後の改善方針を組織全体として共有し、改善方針の進捗状況を定期的に確認しながら目標達成に向け組織的な学校運営を行う。</p> <p>○中間評価の在り方について、具体的な評価基準を設ける等の具体策を検討し、次年度に向けて整理を行う。</p>